

最近の調剤医療費（電算処理分）の動向
平成 24 年 12 月

○ 概要

(1) 平成 24 年 12 月の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 5,892 億円（伸び率（対前年度同期比、以下同様。）▲0.1%）で、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 8,631 円（伸び率▲1.2%）であった。（→P.1-2）

調剤医療費の内訳は、技術料が 1,503 億円（伸び率 3.0%）、薬剤料が 4,379 億円（伸び率▲1.1%）で、薬剤料のうち、後発医薬品が 454 億円（伸び率 16.3%）であった。（→P.4）

3要素分解 （→P.8-9）	処方せん1枚当たり 薬剤料	処方せん1枚当たり 薬剤料種類数	1種類当たり 投薬日数	1種類1日当たり 薬剤料
実数	5,356 円	2.99 種類	21.2 日	85 円
伸び率（%）	▲3.0	▲0.2	+2.1	▲4.9

(2) 薬剤料の約 85%を占める内服薬（3,657 億円（伸び幅（対前年度同期差、以下同様。）▲71 億円）を薬効大分類にみると、21 循環器官用薬が 969 億円（伸び幅▲62 億円）と総額が最高で、39 その他の代謝性医薬品が伸び幅 24 億円（総額 449 億円）と伸び幅が最高であった。（→P.10）

年齢区分 （→P.10~13）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	3,657 億円 （▲71 億円）	21 循環器官用薬 （969 億円）	11 中枢神経系用薬 （575 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（449 億円）
0 歳以上 5 歳未満	56.4 億円 （+3.67 億円）	44 アレルギー用薬 （21.4 億円）	61 抗生物質製剤 （16.6 億円）	22 呼吸器官用薬 （8.9 億円）
5 歳以上 75 歳未満	2,323 億円 （▲62 億円）	21 循環器官用薬 （609 億円）	11 中枢神経系用薬 （369 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（305 億円）
75 歳以上	1,277 億円 （▲5 億円）	21 循環器官用薬 （359 億円）	11 中枢神経系用薬 （206 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（143 億円）

(3) 処方せん 1 枚当たり調剤医療費を都道府県別にみると、全国では 8,631 円（伸び率▲1.2%）で石川県（11,248 円（伸び率▲1.9%））が最高で、佐賀県（7,318 円（伸び率 0.3%））が最低であった。

また、伸び率は宮城県（伸び率 2.5%）が最高で、徳島県（伸び率▲4.6%）が最低であった。（→P.25-26）

【後発医薬品薬剤料】 454 億円（伸び率：16.3%、伸び幅 64 億円）（→P.34）

【後発医薬品割合】（→P.33）

	後発医薬品割合	伸び幅
数量ベース	29.1%	+5.5%
薬剤料ベース	10.4%	+1.6%
（後発品調剤率 ^注 ）	54.1%	+4.5%

注）全処方せん枚数のうち後発医薬品を調剤した処方せん枚数の割合

【後発医薬品 年齢階級別】（→P.34~35）

	全体	最高	最低
後発医薬品薬剤料の伸び率	+16.3%	+20.8% （75 歳以上）	+0.8% （0 歳以上 5 歳未満）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.4%	11.3% （65 歳以上 70 歳未満）	6.8% （10 歳以上 15 歳未満）

【後発医薬品（内服薬） 薬効分類別】（→P.36~37）

	全体	最高（薬効大分類）
総額	406 億円	107 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び幅	+62 億円	+21 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び率	+18.1%	+82.4%（11 中枢神経系用薬）

年齢区分 （→P.36~40）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	406 億円 （+62 億円）	21 循環器官用薬 （107 億円）	23 消化器官用薬 （81 億円）	11 中枢神経系用薬 （41 億円）
0 歳以上 5 歳未満	4.9 億円 （▲0.02 億円）	22 呼吸器官用薬 （1.67 億円）	61 抗生物質製剤 （1.20 億円）	44 アレルギー用薬 （0.91 億円）
5 歳以上 75 歳未満	255 億円 （+35 億円）	21 循環器官用薬 （71 億円）	23 消化器官用薬 （47 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（29 億円）
75 歳以上	147 億円 （+28 億円）	21 循環器官用薬 （37 億円）	23 消化器官用薬 （33 億円）	11 中枢神経系用薬 （18 億円）

【後発医薬品 都道府県別】（→P.50-54）

	全国	最高	最低
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料	665 円	979 円（岩手県）	523 円（佐賀県）
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料の伸び率	+15.0%	+22.0%（秋田県）	+8.6%（沖縄県）
後発医薬品割合（数量ベース）	29.1%	42.0%（沖縄県）	24.4%（秋田県）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.4%	14.0%（鹿児島県）	8.1%（徳島県）
後発医薬品調剤率	54.1%	67.3%（沖縄県）	48.1%（東京都）

〔利用上の留意点〕

(1)分析対象レセプトの特徴

- 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）において、レセプト電算処理システムで処理された調剤報酬明細書のデータを分析対象としている。
- 平成 24 年 12 月現在の電算処理割合は、処方せん枚数ベース、医療費ベースともに約 99%である。

(2)表章期間

- 平成 16 年 10 月調剤分からデータは収集しているが、伸び率の分析を主眼としているため、統計表上の表章期間は平成 17 年 10 月以降とした。